令和６年度　第二赤間保育園第三者委員会の報告

保護者の皆様から頂いたご意見・ご要望・苦情に学び、保育の信頼関係の充実に努めます。
令和６年度、第二赤間保育園第三者委員会を下記の通り、開催いたしました。

１．開催日時

①令和６年１１月２７日(木)１０：４５～１１：１５(令和６年　４月～令和６年９月)
リモートにより開催しました。

②令和７年度４月２８日(月)１４：３０～１５：００(令和６年１０月～令和７年３月)
リモートにより開催しました。

２．苦情・要望件数

①保護者からの「意見・要望・苦情」として苦情２件。
②保護者からの「意見・要望・苦情」として苦情１件。
その内容と、対応について報告し、今後の課題改善に向けた取り組みについて確認・共有をいたしました。
なお、この１年間、保護者からの第三者委員への直接の相談は、ありませんでした。

３、出席者

①令和６年１１月２７日リモートでの開催。
竹下秀俊委員、永渕美香子委員、園長、副園長、主任
②令和７年　４月２８日リモートでの開催。
竹下秀俊委員、永渕美香子委員、園長、副園長、主任、副主任

４、検討事項

①この会議では、苦情２件に関して検討しました。

１）意見・要望・苦情内容

１．職員の対応・園の環境について
保護者が園に子どもを預けた後に、母親を追いかけて通用門を開けて園外に出た事、園外に出たことを職員が気付いていない事。その事への不信感に繋がった件。
子どもが簡単に鍵を開けて、園外に出られるような環境がある件。

２．子ども同士のトラブルについて
保護者の子どもが、他児より「ランドセルの青は嫌われる」という言葉を言われ、傷ついて帰宅した。以前より他児から謝ることを強要されることがあり、２人の関係性について心配になった。どちらの件も担任が気づいていなかった。担任に対しても子どものことを「打たれ弱い」と発言したことで不信感が募っていた。

２）具体的な改善策に向けて

１．子どもを保護者より受け入れた後に、保護者の姿や送迎の車が見えなくなるまで見送る対応を行う事。通用門については、追加で鍵を設置する。

２．職員間で、２人の関係性を確認。また、当時の対応について確認。
他児の保護者にもこの件について面談をし、家庭での様子や当該の発言に至る背景について情報共有した。

②この会議では、苦情１件に関して検討しました。

１） 意見・要望・苦情内容

１．弁当の渡し間違えについての苦情
お弁当の日に保育者が、他児の弁当を渡し間違えたことにより、本児の弁当を他の子が食べてしまったことによって、同じ気持ちであろう他児の母親の気持ちを代弁された事の件

２） 具体的な改善に向けて

第三者委員からの意見を踏まえて協議・検討した結果、下記のことについて確認共有しました。

１．お弁当をお預かりした際の管理体制の確立。お弁当の名前と子どもの顔を２人で声出し確認をして提供する、ダブルチェックの徹底。
お弁当の日は、保護者が子どものことを思い、愛情を持って作られたものであることを再認識し、提供ミスを起こさないように意識を持つ。

今後も引き続き保護者および地域の皆様からいただいたご意見・ご要望・苦情に学び、保育及び地域社会との信頼関係の充実に努めます。

以　上